



語り継ぐ、感じる、創る。
いのちのバトンを未来へ。

人間の復興

記憶・レジリエンス・芸術から考える
「いのちのバトン」

語り部が減少する中、阪神・淡路大震災から31年を経た今だからこそ考えたい。
心の回復。人間復興。そして、記憶を未来へつなぐ創造復興。

2026 11 / Fri 20

時間

9:00～10:30

※経済学部1限授業として実施します。

会場

関西学院大学
西宮上ヶ原キャンパス
B号館301教室

ハンドバンの音色に合わせて、想い思いに手を動かす「3分間図画工作」もあります。

この学びに関心のある方へ

防災、命の尊厳、教育、レジリエンス、芸術、
宗教・社会の問いに関心のある方へ。
中学生・高校生・大学生、教職員、地域の方などをお招きします。

講義で考えること

- | | |
|----------|--------------------------|
| ① 記憶と震災 | 阪神・淡路大震災／紙芝居『じしんがおきた日』 |
| ② 脳と逆境 | ストレス／ACEs／発達途上の脳／レジリエンス |
| ③ 芸術と回復 | 紛争地域の子どもたち／表現を取り戻すこと |
| ④ 共同体と隣人 | 福田徳三／暮らし・心・尊厳の回復 |
| ⑤ 人間の復興 | 災害ユートピア／カインとアベル／隣人へのまなざし |
| ⑥ 記憶の継承 | 記録 → 調査 → 教訓 → 次の世代へ／死生観 |

担当

舟木讓

関西学院大学 経済学部
教授・宗教主事
牧師
第17代関西学院院長
(2019-2022)

ゲスト講師

米光智恵

会に行く美術教仕
阪神・淡路大震災カトリベ
関西学院初等部 図工専科
防災文化芸術チーム
「いのちのバトンジャーナル」
主宰
(西宮市防災危機管理課協働事業)

